

平成 20 年度
鹿 児 島 大 学 法 科 大 学 院

第二次募集

小 論 文 試 験 問 題

平成 20 年 3 月 15 日（土曜日）

答案作成上の注意

1. 「解答はじめ」の合図があるまで、この 1 ページ目を表にして、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題冊子は、このページを含めて 8 ページある。
3. 解答用紙は 4 枚配布する。
4. 解答用紙左上の に、設問・小問の番号を記入すること（記入例：設問 2 の小問（1）であれば、「2－（1）」と記入する）。
5. 解答用紙右上の No. に、答案全体を通してのページ番号（1～4）を記入すること。
6. 白紙答案がある場合でも、すべての用紙に受験番号、設問・小問の番号を記入して、必ず 4 枚すべてを提出すること。
7. 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に、横書きで記入すること。
8. 試験終了後、この小論文問題冊子と下書き用紙は、持ちかえってよい。
9. 設問の出典は、解答にあたり予断を与えないために割愛した。また、原文の字句・構成を一部省略・変更した部分がある。

設問 1

次の文章を読んで、「人と裁判の関わり」について、あなたの考えを論じなさい。
(800字以内)

(著作権処理手続中のため、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【出典】

棚瀬孝雄『訴訟動員と司法参加 市民の法主体性と司法の正統性』（岩波書店、2003 年）
207 頁から 220 頁

【引用】

209 頁 1 行目から 213 頁 7 行目所収
なお、原文から、節に付された見出しを省略している。

設問 2

次の文章を読んで、小問（１）（２）に答えなさい。

（著作権処理手続中のため、文章の出典と引用箇所のみを表示します。）

【出典】

宇沢弘文著作集第 12 巻『20 世紀を超えて ―都市・国家・文明―』（岩波書店、1995 年）
第一部第 5 章 新しい都市を求めて 105 頁から 127 頁所収

【引用箇所】

107 頁 1 行目から 111 頁 7 行目

原文のうち、以下の箇所を ***** に置き換え、それぞれ A1 から A4 の番号を付している。

- A1 108 頁 4 行目「必ず」から、同 5 行目「ならない」まで
- A2 109 頁 3 行目「街路は」から、同 4 行目「ている」まで
 109 頁 8 行目「街路が」から、同 8 行目「ている」まで
- A3 109 頁 17 行目「古い」から、110 頁 1 行目「ようになっ」まで
 110 頁 4 行目「償却費」から、同 5 行目「存在し」まで
- A4 110 頁 9 行目「人工密度」から、同 9 行目「ている」まで

なお、原文の字句・構成を一部省略・変更した部分がある。

小問（１）

問題文全体から、ジェイコブスの四大原則は、それぞれ、どのようなものであると推論されるか。A1 から A4 の箇所を補い文書として完成させなさい（A1 から A4 の の長さは、解答文の長さに対応するものではない。また解答文の文末は、それに続く文章に整合的である必要はない）。

小問（２）

問題文の筆者（基本的にジェイコブスの考え方に賛同している）の目に、都市空間のなかの歩道橋は、どのようなものとして映るだろうか。「都市のあり方」「自動車の通行」などについての筆者の考え方から推測して答えなさい。（400字以内）

以上